

## 報告：原発問題をめぐる全体状況

④第 94 回脱原発八千代ネットワーク定例会

2020 年 10 月 24 日 川井康郎

### 1. フクシマの状況

- (1) 10/16 福島第一のトリチウム他汚染水について、関係閣僚会議にて近々（10/27?）海洋放出を決定するとの報道。汚染水は現在 123 万トン溜まっている。大型で堅牢なタンクに保管継続あるいはモルタル固化処分すべき。
- (2) 9/30 仙台高裁は福島県を中心とした原告約 3600 人による被災者集団訴訟の控訴審判決において、1 審に続いて国と東電の責任を認め、賠償額も倍増した（参考：千葉地裁判決では国の責任は認めなかった）。国・東電は 10/13 最高裁に上告。

### 2. 原子力規制と再稼働の動き

- (1) 稼働状況：高浜④が特重施設期限にて停止し（10/7）、運転中は 2 基（大飯④、玄海④）。11/3 には大飯④が定検に入り、国内稼働原発は玄海④のみ 1 基となる予定。また、近々再稼働を予定していた定検中の大飯③は亀裂の入った一次系配管の交換のため大幅に遅れる見込み。
- (2) 村井宮城県知事は 10/22 の県議会での採択を受けて、女川原発②号機の再稼働に同意する方針と。女川は東日本大震災時の被災原発であり、設備の残存強度に懸念がある。
- (3) 10/3 東電は、2021 年 3~4 月に柏崎刈羽⑦号機の原子炉に核燃料を装填する検討をしていることが判明。新潟県では議論開始の目処さえ立っていない。
- (4) 10/2 江島副経産相はボーリング調査が中断したままの上関原発について「住民が反対するものは進めるべきではない」「白紙状態、判断は先となる」と発言。

### 3. その他のトピックス

- (1) 10/8 北海道の寿都町ならびに神恵内村は高レベル廃棄物（核のごみ）の最終処分場選定に向けた文献調査への応募を決定。それぞれ 2 年間で約 20 億円の交付金が支給される予定。
- (2) 2019 年の世界全体の発電量は再生可能エネルギーが初めて原発を上回った（右図）。M・シュナイダー氏は「原子力発電は競争力を完全に失った」と。
- (3) 11/15 に柏崎市長選の投開票。現職の桜井市長相手に近藤正道氏（元社民党参議院議員）が立候補。

<以上>

